

# 学生の7割以上が大学在籍中に「成長したと思う」 成長実感が最も高いのは理系女子（リケジョ）

—「卒業時満足度調査2015」より—

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、大学生の卒業時満足度に関する調査を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。

## 1. 成長実感とそのきっかけ・・・P3～4

- 「成長したと思う」は75.5%。「とても成長した」は2割強（21.7%）。
- 成長実感が高いのは、理系女子＞文系女子＞理系男子＞文系男子の順。  
▽「成長したと思う」男子71.1%、女子81.4%と女子の方が10ポイント以上高い。  
▽在籍した学校が入学時に第1志望か、第2志望以下であったかで「成長したと思う」のスコアは7.6ポイントの差がみられるが、第2志望以下でも7割（71.0%）を超えている。
- 成長のきっかけのトップは「卒業論文・制作を仕上げたこと」（50.5%）。  
▽男女でトップは異なる。男子「卒業論文・制作を仕上げたこと」(48.1%)、女子「アルバイトでの人間関係・責任の重さ」(54.1%)。

## 2. 身についた能力とその機会・・・P5～6

- 大学で身についた能力のトップは「専門分野の知識・技術を理解・習得する力」（41.0%）。次いで「物事を論理的に考える力」「物事をさまざまな視点から考える力」（38.0%）。
- 一方、最も低かった項目は「将来、グローバルに活躍できる力」（5.4%）。  
▽理系男子では「物事を論理的に考える力」、理系女子では「専門分野の知識・技術を理解・習得する力」「専門分野の知識・技術を実際に活かせる力」が他の層に比べ高く、全体を10ポイント以上上回っている。
- 能力が身についた機会を、能力別にランキングすると最も1位が多かったのは『ゼミ・実習・研究』（22項目中16項目）。次いで『授業』（同5項目）、『アルバイト』（同1項目）。  
※身についた能力ごとに、それがどこで身についたかのトップ項目

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「卒業時満足度調査2015」リクルート進学総研調べ”と明記ください。  
リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

[https://www.recruit-mp.co.jp/support/press\\_inquiry/](https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/)

## 【調査概要】

### ■ 調査目的

- 卒業時における大学生の学校満足度・入学前の期待・卒業時の評価および卒業後の学び継続意向を把握する。

### ■ 調査期間

- 2015年2月27日（金）～3月26日（木）

### ■ 調査方法

- インターネット調査

### ■ 調査対象

- 株式会社クロスマーケティング社のモニター会員のうち、2015年2月時点で日本国内の大学に在籍している学生を対象にスクリーニング調査を実施。
- そのうち2015年3月に学校を卒業する予定の大学4年生・大学6年生で18～25歳までの男女を調査対象とした。

### ■ 集計対象数

- 1,703人

※ 集計時に、北海道／東北／北関東／南関東／北陸・甲信越／東海／関西／中国・四国／九州・沖縄／その他エリアそれぞれにおいて、平成26年度学校基本調査（確定版）から、当該年度の大学在学者数の男女構成比を算出し、エリア毎の男女構成比を補正している。

- ✓ 北海道エリア：北海道
- ✓ 東北エリア：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ✓ 北関東エリア：茨城県、栃木県、群馬県
- ✓ 南関東エリア：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ✓ 北陸・甲信越エリア：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
- ✓ 東海エリア：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ✓ 関西エリア：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ✓ 中国・四国エリア：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ✓ 九州・沖縄エリア：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- ✓ その他エリア：上記以外

## 【集計対象者プロフィール】

### ■ 性別（全体／単一回答）

		男子	女子
●凡例			
全体	(n=1703)	57.7%	42.3

### ■ 文系、理系の割合（全体／単一回答）

		文系	理系	どちらでもない
●凡例				
全体	(n=1703)	60.3%	35.3	4.4
性別	男子 (n= 983)	55.9	41.8	2.3
	女子 (n= 720)	66.3	26.5	7.2

### ■ 当初の志望順位（全体／単一回答）

		第1志望	第2志望	第3志望以下	第2志望以下・計
●凡例					
全体	(n=1703)	58.7%	21.6	19.7	41.3
性別	男子 (n= 983)	55.3	22.6	22.1	44.7
	女子 (n= 720)	63.4	20.2	16.4	36.6

# 1.成長実感

## ■大学生活で「成長したと思う」大学生は75.5%。

**成長実感が高いのは、理系女子> 文系女子> 理系男子> 文系男子である。**

- ▶ 男女別にみると、自分が「成長したと思う」女子は8割を超える。一方、男子は71.1%と女子と比べて10ポイント以上の差がある。
- ▶ 男女×文理別にみると、
  - ・「成長したと思う」のスコアは、理系女子が最も高い。  
 1位 理系女子（84.8%） 2位 文系女子（81.0%）  
 3位 理系男子（74.0%） 4位 文系男子（68.9%）
  - ・「成長したと思う」のうち「とても成長したと思う」のスコアは、文系男子が最も高い。
- ▶ また、入学時の志望順位別にみると、「成長したと思う」は第1志望（78.6%）の方が第2志望以下と比べて7.6ポイント上回る。

## ■成長実感（全体／単一回答）

【在籍した学校に入学してから、あなたはどの程度成長したという実感がありますか。】

		成長したと思う・計		どちらとも いえない	成長していない・計		成長した と思う ・計	成長して いない ・計
		とても 成長したと思う	ある程度 成長したと思う		あまり成長 していない	まったく成長 していない		
●凡例								
全体	(n=1703)	21.7%	53.8	14.6	6.5 3.5	75.5	10.0	
性別	男子 (n= 983)	20.9	50.2	16.5	7.9 4.5	71.1	12.4	
	女子 (n= 720)	22.8	58.6	11.9	4.6 2.1	81.4	6.7	
文理別	文系 (n=1027)	23.6	50.9	15.9	6.2 3.4	74.5	9.6	
	理系 (n= 601)	19.1	58.4	11.8	7.2 3.5	77.4	10.7	
志望順位別	第1志望 (n=1000)	24.0	54.6	12.9	5.6 2.8	78.6	8.5	
	第2志望以下・計 (n= 703)	18.4	52.6	16.9	7.7 4.4	71.0	12.1	
性×文理別	文系男子 (n= 550)	23.9	44.9	19.4	7.3 4.4	68.9	11.8	
	理系男子 (n= 410)	17.6	56.4	12.4	9.0 4.5	74.0	13.5	
	文系女子 (n= 477)	23.1	57.8	12.0	4.8 2.2	81.0	7.1	
	理系女子 (n= 191)	22.1	62.6	10.5	3.3 1.5	84.8	4.7	

## 2.成長のきっかけ

### ■成長のきっかけトップ3

1位 卒業論文・制作を仕上げたこと (50.5%)

2位 アルバイトでの人間関係・責任の重さ (45.3%)

3位 難しい授業を理解しようと努力したこと (45.0%)

▶ 男女別にみると、トップ3の項目は同じだが順位が異なる。全体値より5ポイント以上高い項目数は、女子が男子と比べて多い。

男子	女子	
1位 (48.1%)	2位 (53.6%)	卒業論文・制作を仕上げたこと
3位 (38.9%)	1位 (54.1%)	アルバイトでの人間関係・責任の重さ
2位 (45.4%)	3位 (44.4%)	難しい授業を理解しようと努力したこと

▶ 男女×文理別にみると、

・最もスコアの高い項目は以下であった。

文系男子「卒業論文・制作を仕上げたこと」(43.7%)

理系男子「卒業論文・制作を仕上げたこと」(54.3%)

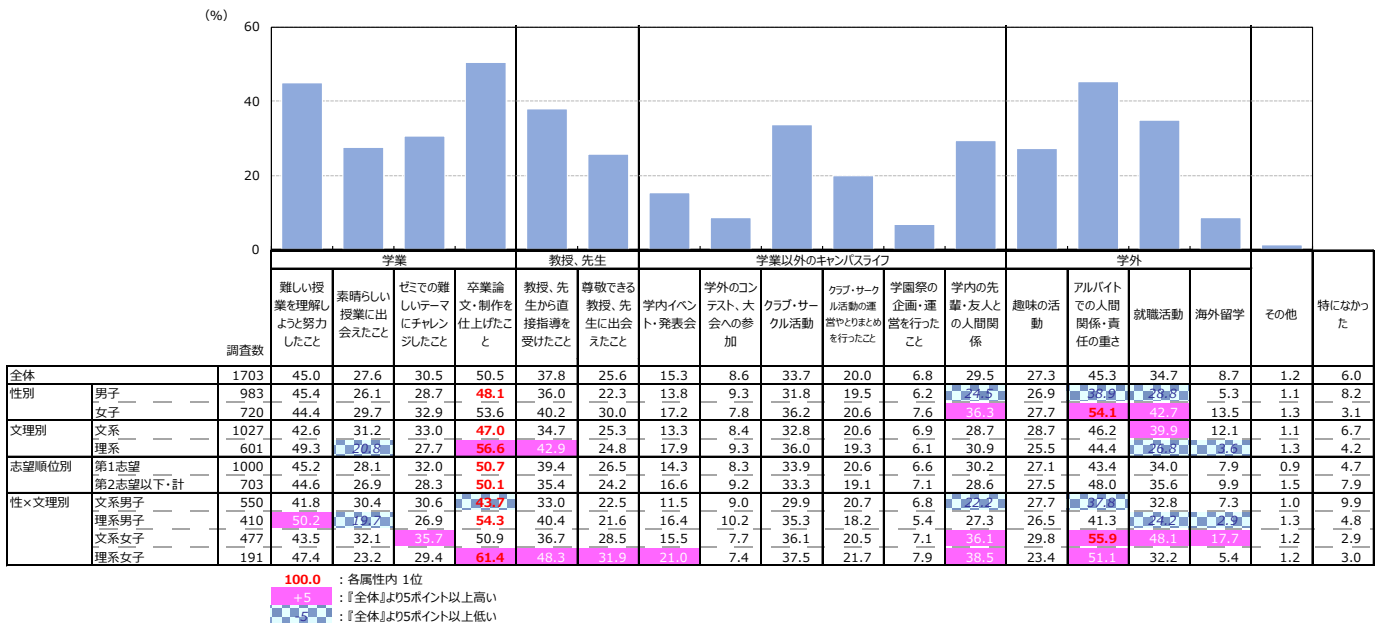
文系女子「アルバイトでの人間関係・責任の重さ」(55.9%)

理系女子「卒業論文・制作を仕上げたこと」(61.4%)

・全体値より5ポイント以上高い項目数が多いのは、理系女子(6項目) > 文系女子(5項目) > 理系男子(1項目) > 文系男子(0項目)の順である。

### ■成長のきっかけ(全体/複数回答)

[在籍した学校での学生生活において、「自分が成長できた」と評価できることはどのようなことがきっかけでしたか。あてはまることをすべてお選びください。]



### 3.大学で身についた能力

#### ■身についた能力上位3位

1位 専門分野の知識・技術を理解・習得する力 (41.0%)

2位 物事を論理的に考える力 (38.0%)

物事をさまざまな視点から考える力 (38.0%)

#### ■身についた能力下位3位

1位 将来、グローバルに活躍できる力 (5.4%)

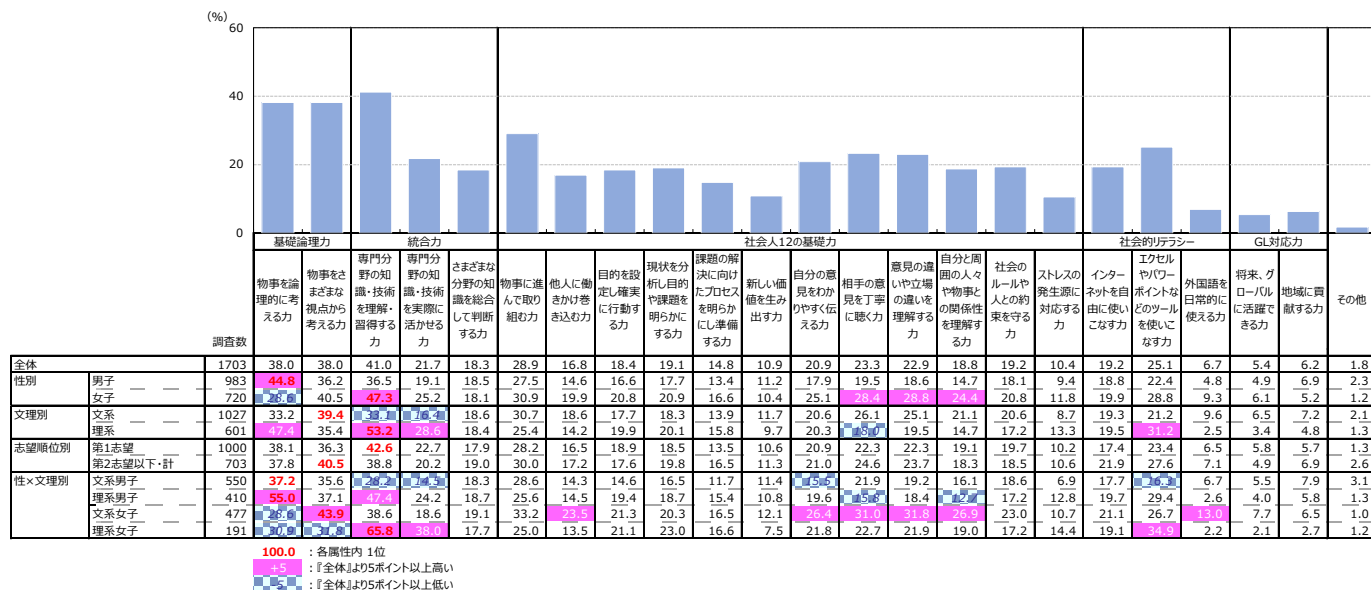
2位 地域に貢献する力 (6.2%)

3位 外国語を日常的に使える力 (6.7%)

- ▶ 男女別にみると、全体値より5ポイント以上高い項目は、女性ではトップの「専門分野の知識・技術を理解・習得する力」のほか、「相手の意見を丁寧に聴く力」「意見の違いや立場の違いを理解する力」「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力」。一方、男性では「物事を論理的に考える力」。
- ▶ 文理別にみると、文系のトップは「物事をさまざまな視点から考える力」(39.4%)、一方、理系では「専門分野の知識・技術を理解・習得する力」(53.2%)。全体値より5ポイント以上高い項目数は理系が文系と比べて多い。
- ▶ 男女×文理別にみると、理系男子では「物事を論理的に考える力」(55.0%)、文系女子では「物事をさまざまな視点から考える力」(43.9%)、理系女子では「専門分野の知識・技術を理解・習得する力」(65.8%)が、トップかつ全体値より5ポイント以上高い。

#### ■身についた能力 (全体/複数回答)

【在籍した学校で学生生活を送って、どのようなこと・力が身につきましたか。あてはまるものをすべてお選びください。】



※GL対応力；グローバル・ローカル対応力

# 4.能力が身についた機会

## ■能力が身についた機会として、トップが最も多かったのは『ゼミ・実習・研究』(16/22項目)。次いで『授業』(5/22項目)、『アルバイト』(1/22項目)

※身についた能力ごとに、それがどこで身についたかのトップ項目

### ➤『ゼミ・実習』がトップの22項目

『基礎論理力』2項目

『社会人12の基礎力(※1) (「社会のルールや人との約束を守る力」を除く)』11項目

「専門分野の知識・技術を実際に活かせる力」

「さまざまな分野の知識を総合して判断する力」

「地域に貢献する力」

### ➤『授業』がトップの5項目

「専門分野の知識・技術を理解・習得する力」

『社会的リテラシー』3項目

「将来、グローバルに活躍できる力」

### ➤『アルバイト』がトップの1項目

「社会のルールや人との約束を守る力」

※1：『社会人基礎力』とは、経済産業省が提唱している、職場や地域社会などで仕事をしていく上で重要となる基礎的な力のこと。「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されている。（経済産業省HPより）

## ■能力が身についた機会（全体・「身についた能力」該当者／複数回答）

【前問でお選びいただいた力は、主にどのようなところから身についたと思いますか。】

(%)

カテゴリ	項目	調査数	身についた能力の機会															
			授業	ゼミ・実習・研究	教授、先生との交流	クラスメイトとの交流	クラブ・サークル活動	アルバイト	ボランティア活動	起業	学内イベント・発表会	学外のコンテスト、大会への参加	インターンシップ	海外留学	学校以外の学びの場(ダブルスクールなど)	読書	就職活動	その他
基礎論理力	物事を論理的に考える力	647	66.2	67.9	26.5	10.5	11.0	11.8	4.5	1.2	2.8	1.7	3.2	1.9	1.5	8.5	8.7	2.9
	物事をさまざまな視点から考える力	648	62.3	67.9	29.6	22.1	25.6	23.0	6.8	1.1	4.8	2.2	4.7	6.0	1.8	11.0	18.1	2.1
統合力	専門分野の知識・技術を理解・習得する力	699	78.9	72.4	32.0	8.9	5.9	3.7	2.3	0.2	5.4	1.4	3.1	2.1	1.9	6.0	2.8	1.3
	専門分野の知識・技術を実際に活かせる力	369	65.3	73.9	27.3	13.1	6.3	6.6	3.8	2.0	4.5	3.3	5.2	2.8	1.2	2.9	3.7	2.2
	さまざまな分野の知識を総合して判断する力	312	61.9	66.8	24.5	15.4	13.0	16.7	6.2	1.7	5.0	3.0	4.1	4.1	1.8	11.0	10.1	2.1
社会人12の基礎力	物事に進んで取り組む力	493	38.8	59.5	20.1	12.2	29.1	34.0	9.6	0.7	9.4	4.1	5.2	7.1	1.5	5.0	18.7	2.7
	他人に働きかけ巻き込む力	286	19.4	46.0	11.6	16.9	43.3	29.9	8.7	2.3	9.9	3.4	7.1	3.5	2.3	2.0	5.2	3.0
	目的を設定し確実に行動する力	313	34.1	63.0	13.5	7.9	28.7	22.0	5.1	3.2	10.5	8.0	5.7	3.6	3.4	1.6	22.3	3.1
	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	325	40.4	68.6	22.9	10.1	26.3	23.3	2.8	0.8	10.3	3.9	5.0	2.9	3.7	6.5	20.1	3.2
	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	251	38.1	66.9	19.9	5.8	19.4	16.4	4.4	3.8	7.0	5.7	6.5	2.9	2.4	3.2	14.6	2.7
	新しい価値を生み出す力	185	35.7	44.4	22.6	11.1	23.2	21.0	5.8	6.1	6.9	2.9	7.7	4.3	4.3	6.7	12.5	5.5
	自分の意見をわかりやすく伝える力	356	39.6	67.6	30.9	18.4	27.1	26.5	5.4	1.9	9.3	3.8	4.1	4.4	1.4	3.9	23.6	0.7
	相手の意見を丁寧に聴く力	396	35.9	65.9	35.0	33.6	29.3	33.7	6.8	—	4.3	1.5	6.4	4.0	1.3	3.3	17.8	3.3
	意見の違いや立場の違いを理解する力	390	36.3	55.9	27.5	32.5	32.2	29.4	7.8	0.2	4.5	1.9	4.6	8.1	1.8	6.1	16.9	3.6
	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	320	29.0	50.7	30.7	33.2	39.6	37.1	9.6	1.4	6.5	2.1	7.1	5.3	1.6	4.3	17.3	2.2
	社会のルールや人との約束を守る力	327	27.4	44.5	29.7	19.9	36.4	49.2	8.4	1.7	6.7	4.7	7.7	3.3	4.3	2.3	27.6	5.2
	ストレスの発生源に対応する力	177	26.5	35.5	25.0	28.5	33.2	34.7	4.1	2.5	5.1	4.6	2.7	2.3	3.5	7.5	13.2	6.5
社会的リテラシー	インターネットを自由に使いこなす力	328	68.8	53.7	7.5	6.5	10.7	5.2	3.7	1.3	6.2	3.4	2.1	1.7	3.3	2.2	11.6	13.5
	エタセルやQRポイントなどのツールを使いこなす力	428	69.4	63.3	8.5	5.0	7.8	5.1	2.1	1.7	5.3	2.2	2.2	0.7	2.2	1.7	3.6	5.3
	外国語を日常的に使える力	114	62.2	25.9	17.9	12.7	5.2	10.4	6.7	—	3.7	2.2	6.0	52.1	7.3	6.0	2.8	6.9
グローバル・ローカル対応力	将来、グローバルに活躍できる力	92	50.9	34.6	19.6	14.0	14.3	5.3	7.6	7.2	2.7	6.7	12.2	35.6	7.8	3.4	5.4	8.5
	地域に貢献する力	106	28.4	41.7	13.5	8.4	13.9	13.3	31.6	—	6.2	—	3.4	1.1	3.9	1.9	11.3	9.2
その他		31	5.7	5.7	—	5.7	5.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	75.2

1st : 身についた能力の機会の中で、最も高いスコア(「その他」除く)  
 2nd : 身についた能力の機会の中で、2番目に高いスコア(「その他」除く)  
 3rd : 身についた能力の機会の中で、3番目に高いスコア(「その他」除く)